

平成20年4月24日
消 防 庁

「ICTを活用した応急手当指導に関する研究」報告書の 公表について

急病や事故などで心肺機能停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、バイスタンダー（そばに居合わせた人）が速やかに心肺蘇生の応急手当を行う必要があるため、119番通報時にバイスタンダーに対し、消防指令センターの係員が心肺蘇生法を電話口で指導（以下「口頭指導」という。）することとしています。

消防庁ではより一層効果的な口頭指導を実施する方策として、ICTを利用した口頭指導方法を検討するため、従来の言葉だけによる口頭指導ではなく、携帯電話に映像を伝送した口頭指導方法を提案し、その効果を検証してきました。

その結果、従来の口頭指導方法に映像を加えることによって、さらに正確な口頭指導ができることがわかりました。

この度、別添のとおり報告書を取りまとめましたので、公表します。

【別添資料】

- 1 「ICTを活用した応急手当指導に関する研究」報告書の[ポイント](#)

※ [報告書全文](#)については、消防庁ホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>) に掲載します。



消太

【連絡先】

消防庁救急企画室

担当：松野課長補佐、島田係長

電 話：03-5253-7529（直通）

FAX：03-5253-7539